

コッ コッ
令和6年度学校CO₂削減コンテストin香川審査結果

今年度もCO₂削減に向け、子供達
が一生命頑張りました！



学校名	各賞	環境への取り組み内容
三豊市立 下高瀬小学校 (コンテスト参加回数7回)	最優秀賞	・4年生の総合的な学習の時間に、ポスター作成や校内パトロール等各グループが行った活動を全校生に発信した。 ・給食食べ残し0作戦やたい肥実験をして、食品ロス削減運動を実施した。 ・5年生は地域ボランティアの支援で米作りをし、地域の市で販売することで地産地消に取り組んだ。 ・児童がまとめた新聞を展示した地球温暖化防止活動展や、専門家、企業等と連携して、気候変動についての学びを深めた。
三木町立 白山小学校 (コンテスト参加回数10回)	優秀賞	・びかびか委員会が中心となって、アルミ缶回収等を行い、CO₂削減運動を呼びかけた。 ・「節電太くん」などのゆるキャラが校内を回り、節電、節水を呼びかけた。 ・運営委員会の牛乳パックオリンピックや給食委員会の牛乳パックべちゃんこ大作戦等各委員会でもCO₂削減運動に取り組んだ。 ・児童会スマイルプロジェクト「めざせ金メダル」を実施し、全校生で各委員会が設定した目標の達成に向けて努力した。
大手前丸亀 中学・高等学校 (コンテスト参加回数2回)	優秀賞	・生徒有志が所属するTSUNAGUという団体で、今年度は「つなぐ」をテーマに外部の方と交流しながら活動を行った。 ・清掃活動隊「えころとんぐ。」が海、川、陸で清掃活動をし、川では国交省から依頼を受け、土器川の調査に参加した。 ・文化祭でプラスチックごみを出さないようにする活動や家庭の余剰品を回収、再利用し、ごみをごみにしない活動を実施した。 ・中津万象園から出る松葉を有効利用し育てられたレモンを使った商品を丸亀市や地元企業と協力して、学校の食堂で販売した。
香川大学教育学部 附属高松小学校 (コンテスト参加回数1回)	審査員特別賞	・1～6年生が集まった縦割り活動で、ペットボトルや乾電池、余った布切れ、木切れ、画用紙等の余りを回収する活動を行った。 ・集めた材料を使って、各児童がオリジナルアート作品を製作した。 ・縦割り活動で、紙製品とプラスチック製品の分解過程を比較する生分解実験を行った。 ・給食ごみ削減のために、牛乳パックはそろえて出す等の取組みの徹底や各クラスでごみのかさを減らす工夫を実行した。
三豊市立 三野津中学校 (コンテスト参加回数2回)	審査員特別賞	・3年生がモリングという植物を栽培して、地域の未耕作地の問題と二酸化炭素排出削減を結び付けて探究学習を行った。 ・全校生でペットボトルの蓋を回収し、二酸化炭素を出さないようにするエコキャップ運動を推進した。 ・環境委員会で野菜を育てて、収穫した野菜を保護者に配布したり、全校集会で披露した。 ・オーシャンブルーを植えて、校舎3階まで届くグリーンカーテンを育てた。
香川県立 石田高等学校 (コンテスト参加回数1回)	企業賞 (四国電力賞)	・ヘチマやアサガオの緑のカーテンを設置し、データロガーで温度の変化を、サーモグラフィ画像で遮光効果を検証した。 ・校内や地元企業にカイロ回収ボックスを設置して、3006個のカイロを回収し、それらを農業資源として再利用した。 ・植物発電（再生可能エネルギー）に関する研究に取り組んだ。 ・農業土木科の生徒を中心にペットボトルのきれいな分別を行い、水平ペットボトルリサイクルの促進を図った。
善通寺市立 中央小学校 (コンテスト参加回数4回)	企業賞 (四国ガス賞)	・3年生が「花咲かキッズ」として、花を中心とした緑化活動を行い、学校の環境を整えた。 ・4年生は防災をテーマにして勉強し、食品ロスを防ぐ「ローリングストック」について学習発表会で発表した。 ・5年生は毎年続けているエコキャップ回収運動を今年度も実施した。 ・全校生で「残菜0週間」等残菜を減らす取組みをしており、昨年度と比べて平均残菜率を減らすことができた。
三豊市立 桑山小学校 (コンテスト参加回数8回)	企業賞 (ミライエ賞)	・未使用の教室は完全消灯を心掛けて、放課後にはなるべく1つの部屋に集まる等電灯やエアコンをつける場所を減らした。 ・職員室の窓の外にグリーンカーテンを作ったり、1階の各教室の外にもゴーヤ、ヘチマ、アサガオを植えた。 ・学校や地域全体でアルミ缶や資源ごみの回収を行い、収益金を福祉施設へのプレゼント代に充てた。 ・健康面に留意しつつ、自主マラソンを行い、走って体を温めることで暖房をつけない時間を増やした。
香川大学教育学部 附属坂出小学校 (コンテスト参加回数7回)	CO ₂ 削減賞	・全校集会で児童会のメンバーが、地球温暖化についてのクイズや食品ロス削減を呼びかける劇を行った。 ・週に1回「SDGsホットステーション」を行い、地域や家庭にある資源を回収し、持ってきた児童を放送で紹介した。 ・緑化美化委員会では、樹木医からアドバイスをもらい、今まで開花したことがない桜の復活活動を行い、見事開花させた。 ・3年生の「坂出よくし隊」によって、坂出市の道路や沙弥島の海岸を清掃し、たくさんのごみを集めた。
高松市立 木太南小学校 (コンテスト参加回数3回)	CO ₂ 削減賞	・委員会活動で、牛乳パック等の回収や花いっぱい運動、腐葉土づくり、フードロス削減運動を行った。 ・4年生の総合的な学習の時間で、「どんぐり銀行」の活動について勉強した。 ・香川県気候変動適応センターの方から暑さ指数について学び、地球温暖化について考えた。 ・防災学習の一環で大雨の対応策や気象庁「キキクル」の情報について学習した。
善通寺市立 西部小学校 (コンテスト参加回数2回)	CO ₂ 削減賞	・緑のカーテンの設置やベア学年での花植え等緑化活動を行い、学校全体で緑を増やそうという意識を高めた。 ・給食委員会が食品ロスについて発表し、一週間残菜を出さないように意識して食べた人数を調べ、意識の向上を図った。 ・4年生が各学級へポスターを持って周知し、エコキャップの回収を行った。 ・エコキャップの回収時に、節電の呼びかけも行った。
高松市立 香南中学校 (コンテスト参加回数2回)	CO ₂ 削減賞	・3年生全員で朝顔の種をプランターに蒔き、グリーンカーテンをつくった。 ・香南町木であるモクセイに環境保護の願いを込め、全校生でロゴマークを作成した。 ・地元の食材を使ったこ焼きを作り、サンポート高松で開催されるマルシェに出店した。 ・古いたこ焼き機を修理しながら使ったり、販売の際には紙の器で提供する等環境負荷を抑えられるように工夫した。
宇多津町立 宇多津中学校 (コンテスト参加回数7回)	CO ₂ 削減賞	・今年度は持続可能な活動を第一に考え、昨年度の活動を振り返って、今年度の年間計画を作成した。 ・マイ箸、マイボトルの持参やペットボトルキャップの回収等を一年間を通して常時実施した。 ・今年度で22年間続くさわやかロードの清掃活動への参加を校内で呼びかけ、100名以上の生徒で行った。 ・ボランティア活動への参加の呼びかけをデジタルサイネージで行ったり、申し込みをGoogleフォームにする等紙の利用を削減した。
香川県立 高松工芸高等学校 (コンテスト参加回数10回)	CO ₂ 削減賞	・実のなる野菜や果物で、グリーンカーテンを設置した。 ・エアコンの設定を、暖房は20℃、冷房は26℃にするように配慮した。 ・明るいうちは廊下の電気を消す等節電に努めた。 ・生徒の家庭でも植物を育てたり、節電方法を実行した。
香川県立 香川中央高等学校 (コンテスト参加回数7回)	CO ₂ 削減賞	・エアコンの設定温度を夏季は28℃、冬季は19℃と決めて、エアコンを使用した。 ・放送部が校内放送をする際に一斉消灯を呼びかけ、昼休み中は教室の照明を消した。 ・夏季はトイレの便座の暖房スイッチを切り、冬季の暖房スイッチが入っている時は蓋を閉めて、節電を心掛けた。 ・校舎南側にパッションフルーツでグリーンカーテンを設置し、自然科学部全員でお世話をした。
香川県立 高松桜井高等学校 (コンテスト参加回数14回)	CO ₂ 削減賞	・環境委員会が昼休みに教室の半分を消灯することで節電とともに、生徒のエネルギーに関する意識を高めた。 ・1、2年生を対象に、無駄な点灯箇所を調査し、その場所を環境委員会を通して全クラスに伝え、消灯を呼びかけた。 ・生徒会1年生が気候変動、節電、脱炭素についてまとめたものを掲示し、全校生徒に見てもらえるように呼びかけた。
香川県立 多度津高等学校 (コンテスト参加回数9回)	CO ₂ 削減賞	・地域活動である舟岡山未来プロジェクトに参加し、里山の環境整備を行った。 ・左官技術を活かしたベンチを制作し、エコセメントについて学んだ。 ・CLT(ひき板を繊維方向が直交するように積層接着したパネル)を使ったベンチを制作し、森林資源の循環に貢献した。 ・校外学習にて材木工場を見学し、森林資源について学習した。
香川県立 高松支援学校 (コンテスト参加回数2回)	CO ₂ 削減賞	・生徒、職員の家庭及び給食の牛乳パックを回収し、紙すきの材料にして、リサイクルに取り組んだ。 ・背が高く生長する綿を栽培し、緑化に努めた。 ・収穫した綿の実を制作活動の材料にすることで、プラスチックの使用削減につなげた。 ・各学級で呼びかけ、退室時の教室や体育館の消灯を生徒が進んで行った。

(令和6年度学校一覧の順による)